

2004年度 京都大学・東京電機大学大学院
ITベンチャーマネジメント講義プログラム

-- 2004年10月1日～2005年1月14日 --

2004年9月24日〔金〕東京電機大学大学院 オープン講座

2004年度 特別講義グローバル情報社会とオープンシステム論；

- 第1回 2004年10月1日〔金〕
グローバル情報社会とITベンチャーマネジメントの挑戦（京都1）
- 第2回 2004年10月8日〔金〕
グローバル知価社会の展望とITベンチャーの社会的意義（東京2）
- 第3回 2004年10月15日〔金〕；学生自由討議：何を学びたいか？400字までe-Mail。
自分の勉強目的とケース対象 絞込み、
ケースチーム発足（東京3・京都2）
- 第4回 2004年10月22日〔金〕 米国のベンチャーの歴史と
社会生態系としてのベンチャー と産学官のチームアップ（京都3）
- 第5回 2004年10月29日〔金〕 JFベンチャーモデル（京都4）
- 第6回 2004年11月5日〔金〕 若手ITベンチャー 社長に聞く-実ケース1（東京4）
- 第7回 2004年11月12日〔金〕 大手企業のITスパンオフ・カムバック
社長のIT企業経営-Apple Co.（京都5）
- 第8回 2004年11月19日〔金〕 アントレプレナー・ベンチャーGSK（東京5）
- 第9回 2004年11月26日〔金〕 アントレプレナーGEのケース（京都6）

第10回 2004年12月3日 〔金〕

企業の変遷：IBMアントレプレナー時代からオープン・サービス化
再構築時代（京都7）

第11回 2004年12月10日 〔金〕 企業ケース スタディ 発表 - 〔東京6〕

第12回 2004年12月17日 〔金〕 企業ケーススタディ発表（京都8）
社会のグローバル化・オープン化対策

第13回 2005年1月14日 〔金〕 ケース発表・JF 最終講義：
IT Venture Management：（京都 9）〔質問会・コンパ〕

第14回 2005年1月21日 〔金〕 ケース発表・JF 最終講義：
IT Venture Management：〔東京7〔質問会・コンパ〕

（A）小論提出〔学部・大学院とも全員必須〕；

2005年1月11日 〔火〕第1－第12回の講義を聞き自分とベンチャーへのチャレンジ及び学んだ
ケース企業またはオープン・グローバル社会に対する感想小論（Eメールで1200字以内提出）

（B）（大学院必須：学部オプション）；

チームによるケーススタデー 最終報告書の提出をPPT〔10枚以内〕+Word〔3ページ以内〕で
評価の対象です。

以上